

TASCAM

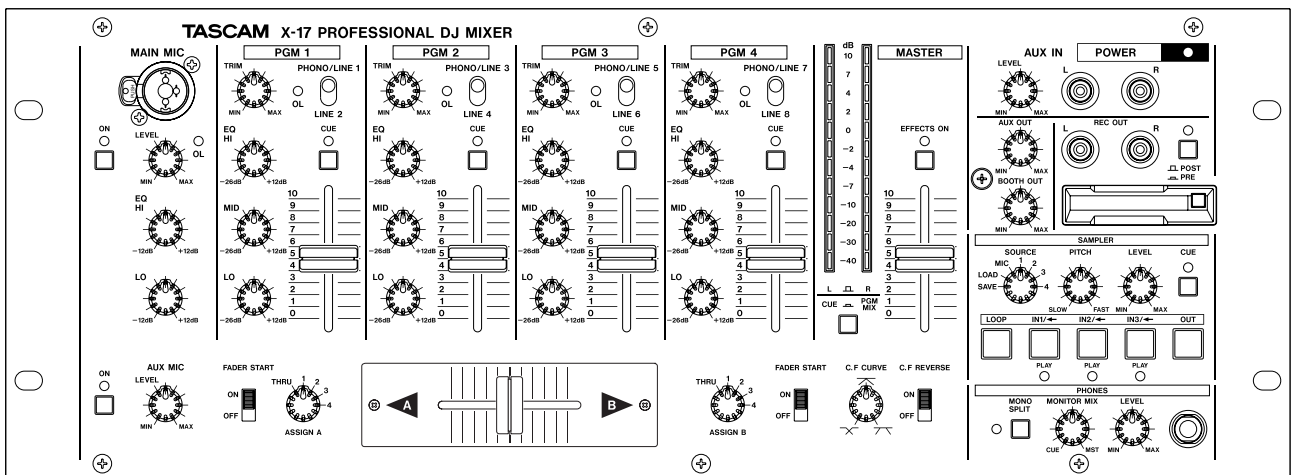
TEAC Professional Division

D00676100A

X-17

Professional DJ Mixer



取扱説明書






安全にお使いいただくために







この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。




 警告	
	万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店または当社サービスセンターに修理をご依頼ください。
	万一機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービスセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の上に花瓶や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
	電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
	この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。
	この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

	この機器を設置する場合は、壁から 20 cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から 2 cm 以上、背面から 10 cm 以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

	オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。
	電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。 <ul style="list-style-type: none">・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所・湿気やほこりの多い場所・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所
	電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
	移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

はじめに

このたびは、TASCAM X-17 をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書を良くお読みいただき、正しい使用方法をご理解いただいた上で、十分に機能を発揮させ末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

はじめに.....	4
接続時のご注意.....	4
シリアルナンバー表示.....	4
ラックマウント方法.....	4
各部の名称.....	5
フロントパネル.....	5
リアパネル.....	8
サンプラー.....	9
仕様.....	11
ブロックダイアグラム.....	裏表紙

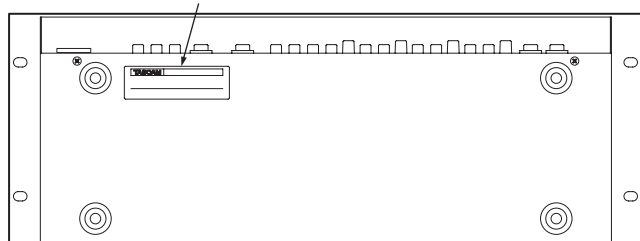
X-17は、標準的なDJミキサーの使い勝手を踏襲するとともに、クロスフェーダースタート機能を備えた、4チャンネルDJミキサーです。

接続時のご注意

全ての接続は、電源を切った状態で行ってください。
全ての接続が終わったら、X-17に接続されている機器、X-17、パワーアンプの順番で電源を入れてください。電源を切る場合は逆の手順で行ってください。
電源を切ったあと、再度電源を入れる場合は、電源を切った後約3秒以上経ってから行ってください。

シリアルナンバー表示

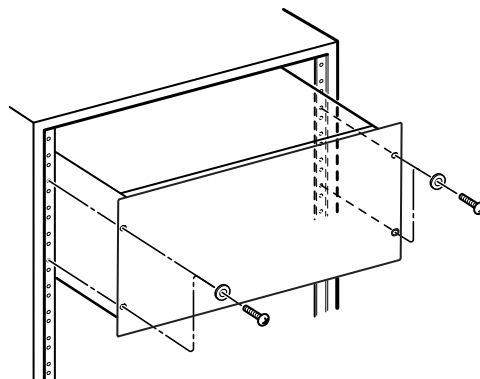
X-17のシリアルナンバーは本体のボトムパネルにあります。



付属品

1. PHONO 端子用ショートピンプラグ (装着状態で出荷)8
2. AC アダプター (PS-P17X)1
3. 取扱説明書 (本書)1

ラックマウント方法



この製品のお取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く
9:30~12:00/13:00~17:00です。

タスカム営業技術

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3
電話：0422-52-5106
FAX：0422-52-6784

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまたは大阪サービスセンターまで
ご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:00~17:40です。

修理センター

〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7



一般電話・公衆電話からは市内通話料金で
ご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても
市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話・PHS・自動車電話などからは
ナビダイヤルをご利用いただけませんので、
通常の電話番号 (下記) にお掛けください。

電話：042-556-2280

FAX：042-556-2281

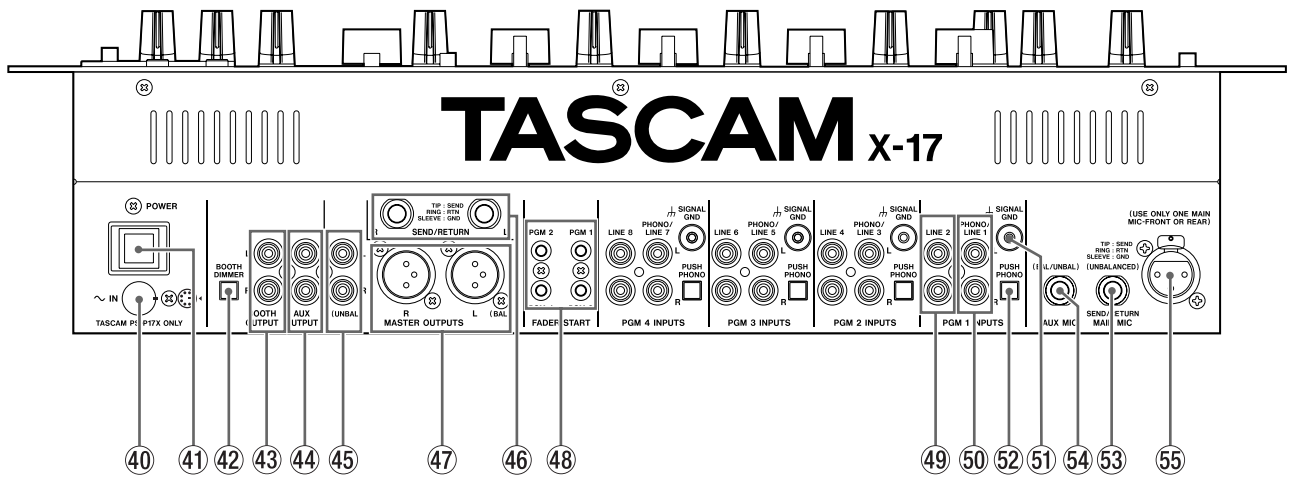
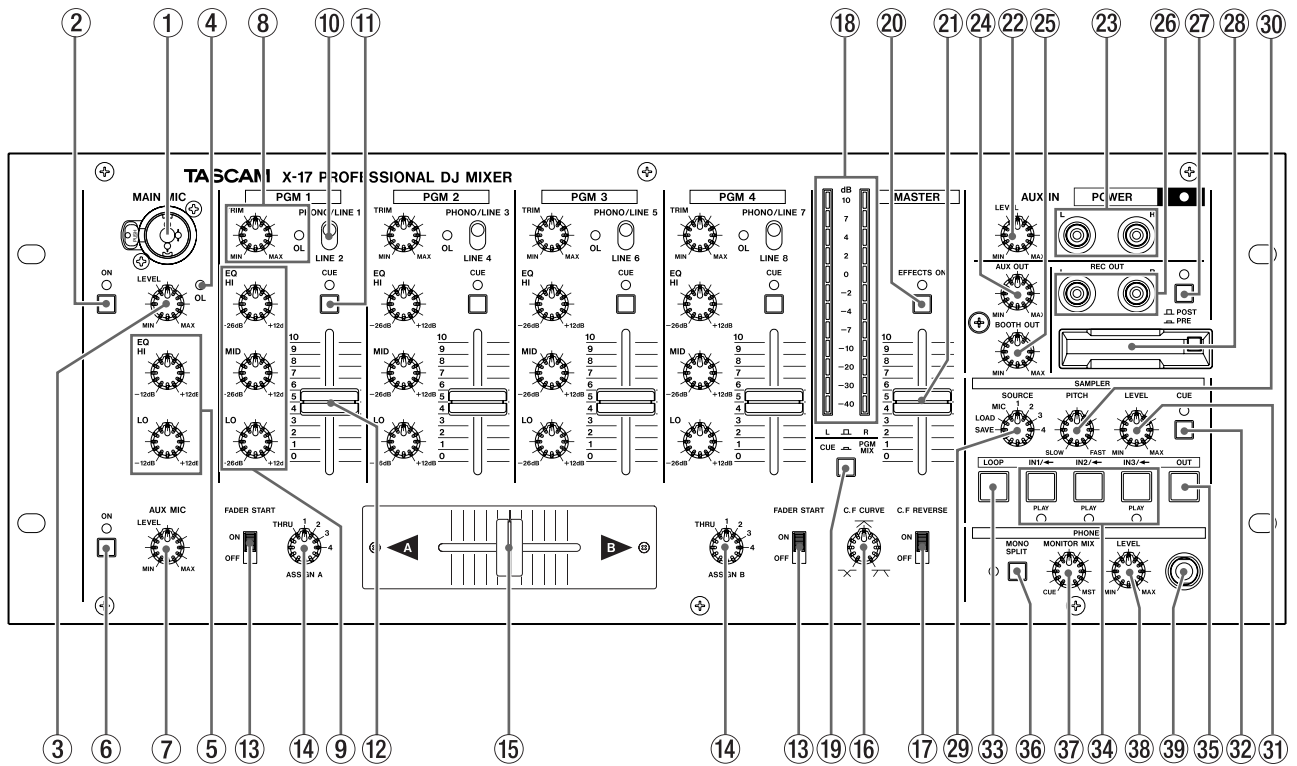
大阪サービスセンター

〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-34-10

電話：06-6384-5702

■住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。
あらかじめご了承ください。

各部の名称



各部の名称

X-17は、標準的なDJの使い勝手を踏襲するとともに、3系統のサンプラー、外部エフェクター接続端子、フェーダースタート機能等を備えた、4チャンネルDJミキサーです。

フロントパネル

① MAIN MIC (XLR/TRS、バランス)

マイクを接続します。メインマイクチャンネルにはエフェクトなどのインサートが可能です。

ピンアサイン

	XLR	TRS
GND:	Pin 1	Sleeve
HOT:	Pin 2	Tip
COLD:	Pin 3	Ring

ご注意

リアパネルにも MAIN MIC 入力端子があります。マイクはどちらか片方だけに接続してください。

② ON スイッチおよび LED (MAIN MIC)

メインマイクチャンネルのオン、オフを行います。オンのときには LED が点灯します。

③ MAIN MIC LEVEL

メインマイク入力レベルを調整します。

④ OL インジケーター

メインマイクあるいは AUX マイクの入力信号がオーバーロードした時に点灯します。

ご注意

入力信号のレベル調整は、メーターやヘッドホンを使って、歪まないように注意深く行ってください。

⑤ MIC EQ

マイク入力用 2 バンド EQ です。

⑥ ON スイッチおよび LED (AUX MIC)

AUX マイクチャンネルのオン、オフを行います。オンのときには LED が点灯します。

⑦ AUX MIC LEVEL

AUX マイク入力レベルを調整します。

⑧ TRIM および OL インジケーター

各 PGM の入力信号レベルを調整します。

OL インジケーターは PGM の入力信号がオーバーロードした時に点灯します。

ご注意

入力信号のレベル調整は、メーターやヘッドホンを使って、歪まないように注意深く行ってください。

⑨ PGM EQ

PGM 用の 3 バンド EQ です。

全ての EQ を -26 dB にすると、音はカットされます。

⑩ 入力選択スイッチ

各 PGM の入力ソースを選択します。

⑪ CUE スイッチおよび LED

各 PGM のプリフェーダー信号を CUE モニターセクションに送ります。このとき、CUE LED が点灯します。

⑫ PGM FADER

各 PGM のレベルを調整します。

⑬ FADER START ON/OFF スイッチ

クロスフェーダースタートのオン、オフを行います。

⑭ CROSS FADER アサインセレクター

クロスフェーダーにアサインするソースを選択します。

クロスフェーダーにアサインされていない PGM 信号は、直接 MASTER フェーダーに送られます。

THRU の位置に設定すると、クロスフェーダーには信号は送られません。

⑮ CROSS FADER

CROSS FADER アサインセレクターでアサインされた PGM チャンネルをフェーダーコントロールします。クロスフェーダーは交換可能です。

⑯ C.F CURVE

クロスフェーダーの立ち上がりのカーブを調整します。

⑰ C.F REVERSE

クロスフェーダーの動作を反転します。

⑱ METER

マスター出力レベル（L および R）または、CUE 信号とマスター出力レベルをモノラルで表示します。

ご注意

マスター出力表示は、マスターフェーダーを通った後の信号を表示します。

⑲ メーター切り替えスイッチ

メーターの表示内容を、マスター出力レベル（L および R）または、CUE 信号とマスター出力レベル表示のどちらにするかを切り替えます。

⑳ EFFECT ON および LED

MASTER 出力に外部エフェクトをインサートします。インサートオンの場合、LED が点灯します。

㉑ MASTER FADER

マスター出力レベル（XLR バランス出力および RCA アンバランス出力の両方）を調整します。

㉒ AUX IN LEVEL

AUX IN に入力された信号のレベルを調整します。

㉓ AUX IN（RCA、アンバランス）

ラインレベルの入力端子です。
この端子に入力された信号は、マスターフェーダーの手前でミックスされます。

㉔ AUX OUT LEVEL

AUX 出力レベルを調整します。

㉕ BOOTH OUT LEVEL

ブース出力レベルを調整します。

㉖ REC OUTPUT（RCA、アンバランス）

プリマスターフェーダー信号を出力します。

㉗ PRE/POST

REC OUTPUT 出力信号の設定を行います。

PRE： PGM およびサンプラーの信号をミックスして出力します。

POST： PGM、サンプラー（エフェクトインサートも有効）、メインマイク、AUX マイク、および AUX IN の信号をミックスして出力します。

㉘ コンパクトフラッシュカードスロット

サンプラーのデータのロード/セーブを行う、コンパクトフラッシュカードを挿入します。カードを取り出すときは、スロットの右側にあるイジェクトスイッチを押します。
お使いにならないときは、付属のカバーをスロットにつけておいてください。

㉙ SAMPLER SOURCE

SAVE：X-17 でサンプリングしたデータをコンパクトフラッシュカードにセーブします。

LOAD：コンパクトフラッシュカードからサンプリングデータをロードします。

MIC、1-4：サンプリングするソースを選択します。

㉚ SAMPLER PITCH

サンプラーの再生ピッチを 1/2 倍速～2 倍速の範囲で調整します。

㉛ SAMPLER LEVEL

サンプラーの出力レベルを調整します。

㉜ SAMPLER CUE および LED

サンプラーの信号（SAMPLER LEVEL で調整される前の信号）を CUE モニターセクションに送ります。このとき、CUE LED が点灯します。

㉝ SAMPLER LOOP

サンプラーループ再生の設定を行います。サンプラーループ再生時は、キーが点灯します。

㉞ IN1/ ←、IN2/ ←、IN3/ ←

サンプラーの録音や再生を開始します。

SAMPLER SOURCE セレクターを LOAD に設定している場合、IN 1/ ←キーを押すことにより、コンパクトフラッシュカードからサンプリングデータをロードします。

㉟ OUT

サンプラーの録音や再生を停止します。

SAMPLER SOURCE セレクターを SAVE に設定している場合、このキーを押すことにより、コンパクトフラッシュカードにサンプリングデータをセーブします。

各部の名称

③⑥ MONO SPLIT スイッチおよび LED

ヘッドホンモニターモードを、MONO SPLIT モードにするか STEREO モードにするかを選択します。MONO SPLIT モード時は LED が点灯します。

STEREO : CUE 信号と MASTER 信号が、常にステレオでモニターできます。

MONO SPLIT : CUE 信号は左から、MASTER 信号は右からモニターすることができます。ただし、モノラルでのモニターになります。

③⑦ PHONES PAN (MONITOR MIX)

ヘッドホンモニター時の CUE 信号と MASTER 信号のレベルバランスを調整します。

③⑧ PHONES LEVEL

ヘッドホン出力レベルを調整します。

③⑨ PHONES

ヘッドホンを接続します

クロスフェーダーの交換方法

1. クロスフェーダーを一番上まで上げ、フェーダーノブを外します。
2. クロスフェーダーパネルの2個のネジを外します。
3. クロスフェーダーを外します。
4. フェーダーに接続されているケーブルを外します。
5. 新しいクロスフェーダーを用意します。
6. 新しいクロスフェーダーにケーブルを接続します。
7. 新しいクロスフェーダーをネジ止めします。

リアパネル

④⑩ AC Adaptor in

付属の PS - P17X を接続します。

ご注意

この機械には付属の AC アダプター (PS - P17X) をご使用ください。それ以外のものを使用すると火災の原因となることがあります。

●端子横の図をよく見て、正しい向き AC アダプターのプラグを挿し込んでください。誤った向きで無理に挿入すると、機械を損傷させることがあります

④① POWER

電源スイッチです。

④② BOOTH DIMMER

このスイッチを押した状態でフロントパネルの MAIN MIC ON スイッチを押すと、ブース出力が 20 dB カットされます。

④③ BOOTH OUTPUT (RCA、アンバランス)

BOOTH OUT LEVEL で調整された信号を出力します。

④④ AUX OUTPUT (RCA、アンバランス)

AUX OUT LEVEL で調整された信号を出力します。

④⑤ MASTER OUTPUT (RCA、アンバランス)

マスターフェーダーで調整された信号を出力します。

④⑥ SEND/RETURN (TRS、アンバランス)

外部エフェクターなどを接続します。マスター出力 (PGM 信号およびサンプラー信号) に外部エフェクトをインサートします。

GND :	Sleeve
SEND :	Tip
RETURN :	Ring

④⑦ MASTER OUTPUT (XLR、バランス)

マスターフェーダーで調整された信号を出力します。
ピンアサイン

GND :	Pin 1
HOT :	Pin 2
COLD :	Pin 3

④⑧ FADER START

フェーダースタート機能を備えた、プレーヤーを接続します。クロスフェーダースタート機能は、A、B 独立してオン、オフの設定が可能です。クロスフェーダーを動かすことにより、接続されたプレーヤーに対して、スタート/バックキュー信号を自動的に出力します。

ご注意

この機能をお使いになる場合、オーディオ信号も同じ X - 17 に接続してください。フェーダースタート信号は Tip 端子から出力されます。バックキュー (フェーダーストップ) 信号は Sleeve 端子から出力されます。

④⑨ LINE INPUT (RCA、アンバランス)

CD プレーヤーや MD などのラインレベル出力機器を接続します。

⑤⑩ PHONO/LINE INPUT (RCA、アンバランス)

PUSH PHONO スイッチで PHONO 入力に設定している場合、MM カートリッジを装着したレコードプレーヤーを接続します。

PUSH PHONO スイッチで LINE 入力に設定している場合、CD プレーヤーや MD などのラインレベル出力機器を接続します。

ご注意

PHONO 入力設定時は PHONO 出力以外の機器を接続しないでください。

⑤① SIGNAL GND

レコードプレーヤーのアース線を接続します。アース線を接続しないと、ハムやノイズを発生する場合があります。

⑤② PUSH PHONO

PHONO/LINE 入力端子を、PHONO 入力端子にするか LINE 入力端子にするかを設定します。

ご注意

この設定は、まずパワーアンプの電源をオフにし、必要に応じてその他の機器の電源をオフにしてから行ってください。

⑤③ MAIN MIC SEND/RETURN (TRS、アンバランス)

外部エフェクターなどを接続します。メインマイクに外部エフェクトをインサートします。

GND : Sleeve
SEND : Tip
RETURN : Ring

⑤④ AUX MIC (TRS、バランス)

マイクを接続します。

ピンアサイン

GND: Pin 1
HOT: Pin 2
COLD: Pin 3

⑤⑤ MAIN MIC (XLR、バランス)

マイクを接続します。メインマイクチャンネルにはエフェクトなどのインサートが可能です。

ピンアサイン

GND: Sleeve
HOT: Tip
COLD: Ring

ご注意

トップパネルにも MAIN MIC 入力端子があります。マイクはどちらか片方だけに接続してください。

サンプラー

X-17 は 3 系統のサンプラーがあります。それぞれのサンプラーは、最大 30 秒のサンプリングが可能です。サンプリングデータは、コンパクトフラッシュカードにセーブ/ロードが可能です。コンパクトフラッシュカードは、16MB 以上の容量のものをお使いください。

ご注意

X-17 におけるコンパクトフラッシュカードおよびオーディオデータのフォーマットは、TASCAM オリジナルフォーマットとなります。

サンプリング

サンプリングソースは、マイク、PGM 1 ~ 4 の信号から選択します。サンプリングポイントはプリフェーダー位置です。

まずサンプリングしたいサンプラーの IN/ ← キーが消灯していることを確認してください。IN/ ← キーが点灯している場合 (サンプリングデータがある場合) は、サンプリングはできません。その場合はまずサンプリングデータを消去してから行ってください。

1. サンプリングソースセレクターでサンプリングするソースを選択します。
2. IN 1/ ← (または IN 2/ ←、IN 3/ ←) キーを押します。サンプリングを開始します。このとき、IN 1/ ← (または IN 2/ ←、IN 3/ ←) キーが点灯し、OUT キーが点滅します。
3. OUT キーを押すとサンプリングを停止します。または、30 秒を経過すると、サンプリングは自動的に停止しま

各部の名称

す。このとき、IN 1/←（または IN 2/←、IN 3/←）キーと OUT キーが点灯します。

サンプリングデータの消去

OUT キーを押しながら、IN 1/←（または IN 2/←、IN 3/←）キーを押します。IN 1/←（または IN 2/←、IN 3/←）キーが消灯します。全てのサンプリングデータが消去あるいは無い場合は、OUT キーも消灯します。

サンプラーの再生

1. IN 1/←（または IN 2/←、IN 3/←）キーが点灯しているとき、IN 1/←（または IN 2/←、IN 3/←）キーを押すと、サンプラーの再生が始まります。このとき、再生しているサンプラーの PLAY LED が点灯します。

IN 1/←（または IN 2/←、IN 3/←）キーを押すと、サンプラーの再生中でも必ずサンプラーの先頭から再生を開始します。

ご注意

サンプラーは3つありますが、同時には1つのサンプラーの再生が可能です。

2. SAMPLER LEVEL つまみで再生レベルを調整します。
3. OUT キーを押すと、サンプラー再生が停止します。このとき、PLAY LED も消灯します。

サンプラーのループ再生

SAMPLER LOOP キーを押してサンプラーループ再生モードにします。このとき SAMPLER LOOP キーが点灯します。IN 1/←（または IN 2/←、IN 3/←）キーを押すと、サンプラーのループ再生がはじまります。

サンプラーのループ再生中に、SAMPLER LOOP キーを押すと、サンプラーループ再生はオフになりますが、サンプラーの再生は、最後まで再生した後停止します。

サンプラーのピッチコントロール

SAMPLER PITCH つまみで -50 ~ +100% の範囲で、サンプラーの再生ピッチの調整が可能です。

サンプリングデータのセーブ

本機の電源を切ると、サンプリングデータは消えますので、以下の方法でバックアップしてください。

1. コンパクトフラッシュカードをスロットに挿入します。

ご注意

この操作を行うと、既にカードにセーブされているデータは全て消去されます。カード内のデータを消去したくない場合は、別のコンパクトフラッシュカードをご使用ください。

2. SAMPLER SOURCE セレクターを SAVE に設定します。このとき、OUT キーが点滅します。
3. OUT キーを押すとセーブを開始します。このとき、OUT キーが点灯します。サンプリングデータがセーブされている番号の IN キーが点滅します。
4. セーブが終了すると、OUT キーが点滅します。

サンプリングデータのロード

ご注意

この操作を行うと、X-17 内のサンプリングデータは全て消去されます。必要に応じて X-17 内のサンプリングデータを別のコンパクトフラッシュカードにセーブしてください。

1. コンパクトフラッシュカードをスロットに挿入します。
2. SAMPLER SOURCE セレクターを LOAD に設定します。このとき IN 1/← キーが点滅します。
3. IN 1/← キーを押すとロードを開始します。
4. ロードが終了すると、サンプリングデータのある IN キーが点灯します。

定格

LINE INPUT (PGM 1 - 4) [RCA、アンバランス]

入力レベル : -10 dBV
 入力インピーダンス : 10 k Ω

PHONO/LINE INPUT (PGM 1 - 4)

[RCA、アンバランス]

PHONO時

入力レベル : -54 dBV
 入力インピーダンス : 47 k Ω

LINE時

入力レベル : -10 dBV
 入力インピーダンス : 10 k Ω

MAIN MIC INPUT (トップパネル)

[XLR/TRS、バランス]

入力レベル : -50 dBV
 入力インピーダンス : 2.8 k Ω

MAIN MIC INPUT (リアパネル) [XLR、バランス]

入力レベル : -50 dBV
 入力インピーダンス : 2.8 k Ω

AUX MIC INPUT (リアパネル) [TRS、バランス]

入力レベル : -50 dBV
 入力インピーダンス : 2.8 k Ω

AUX IN [RCA、アンバランス]

入力レベル : -10 dBV
 入力インピーダンス : 10 k Ω

MASTER OUTPUTS (BAL) [XLR、バランス]

規定出力レベル : +4 dBu
 出力インピーダンス : 75 Ω

MASTER OUTPUT (UNBAL) [RCA、アンバランス]

規定出力レベル : 0 dBV
 出力インピーダンス : 100 Ω

REC OUTPUT [RCA、アンバランス]

規定出力レベル : -10 dBV
 出力インピーダンス : 100 Ω

AUX OUTPUT [RCA、アンバランス]

規定出力レベル : 0 dBV
 出力インピーダンス : 100 Ω

BOOTH OUTPUT [RCA、アンバランス]

規定出力レベル : 0 dBV
 出力インピーダンス : 100 Ω

SEND/RETURN [TRS、アンバランス]

規定出力レベル : -4 dBV
 出力インピーダンス : 100 Ω
 入力レベル : -4 dBV
 入力インピーダンス : 10 k Ω

MAIN MIC SEND/RETURN [TRS、アンバランス]

規定出力レベル : -4 dBV
 出力インピーダンス : 100 Ω
 入力レベル : -4 dBV
 入力インピーダンス : 10 k Ω

PHONES 100mW+100mW、(33 Ω 負荷時)

性能

周波数特性

LINE IN : 20 Hz ~ 20 kHz、 \pm 1.0 dB
 PHONO IN : 30 Hz ~ 15 kHz、 \pm 2.0 dB (RIAA)
 MIC IN : 30 Hz ~ 18 kHz、 \pm 3.0 dB

SN比

LINE IN : 78 dB (IHF A WTD)
 PHONO IN : 70 dB (IHF A WTD)
 MIC IN : 60 dB (IHF A WTD)

歪率

LINE IN : <0.1 %
 PHONO IN : <0.2 %
 MIC IN : <0.2 %
 クロストーク : >60 dB (@1kHz)
 PGM EQ
 HIGH : +12 dB ~ -26 dB
 MID : +12 dB ~ -26 dB
 LOW : +12 dB ~ -26 dB

フィルター

(Cut Frequency at -6dB, slope 12dB/oct in all the cases)

HIGH : 6.5 kHz
 MID : 6.5 kHz & 200 Hz
 LOW : 200 Hz

MIC EQ

HIGH : 5.5 kHz、+12 dB ~ -12 dB
 LOW : 125 Hz、+12 dB ~ -12 dB

電源

: 100 V、50 - 60 Hz

消費電力

: 27W

外形寸法

: 482(幅) \times 176(高さ) \times 102(奥行き) mm

質量

: 4.3kg (本体)
0.8kg (ACアダプター)

サンプラー部

サンプリングタイム : 30 秒 \times 3
 サンプリングソース : MIC, PGM 1-4
 サンプリングポイント : MIC; EQの後
 : PGM 1-4; フェーダーの前

周波数特性

LINE IN : 30 Hz ~ 18 kHz、 \pm 2.0 dB
 MIC IN : 50 Hz ~ 15 kHz、 \pm 2.0 dB

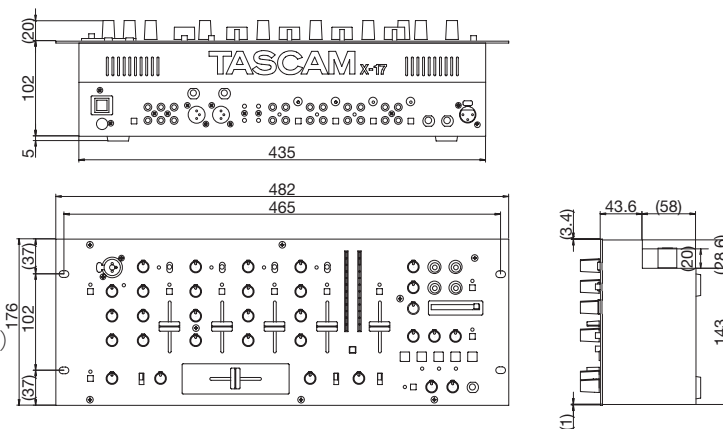
歪率

LINE IN : <0.2 %
 MIC IN : <0.2 %

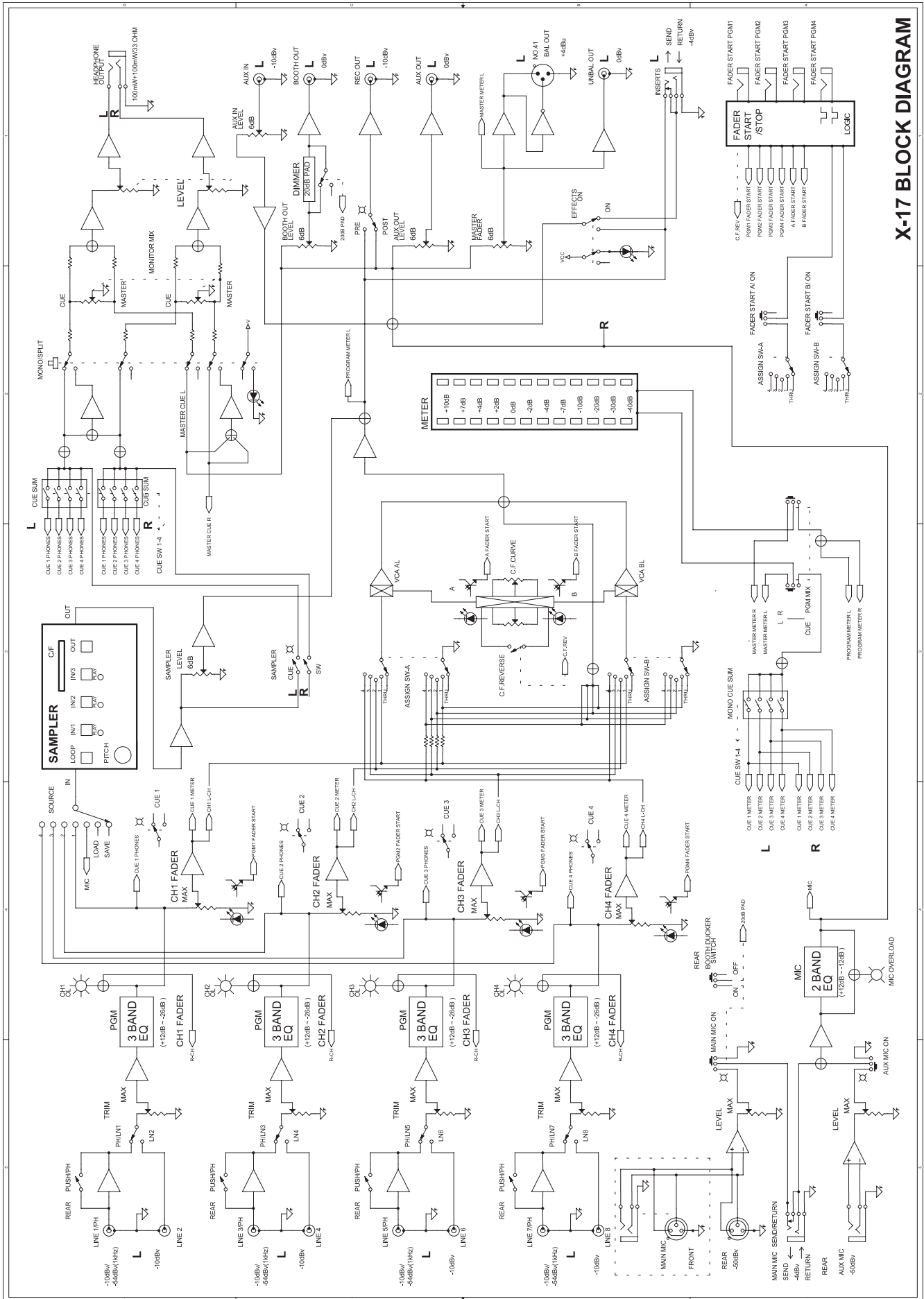
ピッチコントロール

: +100% (最大) / -50% (最小)

外部メモリー

: コンパクトフラッシュカード
(16 MB/32 MB/64 MB)

ブロックダイアグラム



X-17 BLOCK DIAGRAM

ティアック株式会社

〒180-8550 東京都武蔵野市中町 3-7-3
<http://www.teac.co.jp/tascam/>

Printed in China MA-0647A